

せいきょう連ニュース

岡山県生活協同組合連合会 TEL:086-221-4301 ホームページ <http://okayama.kenren-coop.jp/>

6月23日 第51回岡山県生協連通常総会が開催

総会は、代議員定数63人中63人(実出席52人、書面8人、委任3人)、11会員が出席し、議案は、1~5号議案まで賛成多数で採決され、4号議案の定款一部改正の件は3分の2以上の賛成多数で承認、5号議案の役員補充選任では理事4名が選任されました。



↑開会を宣する
宮本理事



総会議長の口羽さん(県労済)と
川崎さん(岡山医療生協)



あいさつをする安場会長理事



県くらし安全安心課 房野文彦課長

紙面紹介

知事メッセージを次ページに掲載させて
いただきました。
代議員の総会での発言要旨を3ページ
に掲載しています。



永年勤続表彰 4生協 39人を
代表して学校生協の小林由佳さん



県労福協 二宮卓志 会長



日本生協連中四国地連
人見昭生 事務局長



全議案は、賛成多数で可決、承認されました

総会には、来賓に岡山県、県労福協、日本生協連のご臨席をいただき、石井県知事のメッセージをはじめとして、励ましの言葉をいただきました。

また、県議會議長、政党、県内の協同組合や全国の生協などからは祝電・メッセージをいただき、姫井由美子参議院議員も会場に見えました。

総会は、最後に総会決議を採択して2010年度の活動を始めました。

〔総会後に開かれた理事会で武部吉治理事(三井造船生協理事長)が副会長理事に互選されました。〕

本日ここに、岡山県生活協同組合連合会の第五十一回通常総会が、盛大に開催されますことを心からお喜び申し上げます。

皆様方におかれましては、昭和三十五年の設立以来、県内の生活協同組合に対する指導や研修をはじめ、地域社会に根ざしたさまざまな活動を通じて、県民生活の安定と生活文化の向上に多大な貢献をしてこられたところであり、そのご努力に対し、心から敬意と感謝の意を表する次第であります。

現在、傘下の組合員数は約七十万人とお聞きしておりますが、事業内容も生活用品の供給をはじめ、医療、共済などさまざまな分野へ広がり、最近では介護をはじめとする福祉や環境問題、また、食の安全への取り組みにも多大なご尽力をいただいているところであります。この場をお借りしまして感謝申し上げます。今後とも、消費者の要望、時代や社会の要請を積極的に取り入れられ、組合員のニーズに沿った適切かつ健全な運営に努められますよう期待しております。

さて、食品表示偽装、架空請求や悪質な訪問販売など、消費者被害の発生が後を絶ちません。こうした中、国では消費者行政の一元化を目指して昨年九月に消費者庁が設置され、消費者の視点に立った消費者施策強化の取り組みが進められています。

岡山県におきましても、消費生活センターを土・日曜日にも開館して相談に応じるなど相談体制の充実、強化につとめるとともに、専門の指導員を配置して悪質な業者への指導も強化しております。また、住民に身近な市町村における消費生活相談窓口の充実強化にも取り組んでおり、本年四月には、笠岡市消費生活センターが新たに設置されたところです。

今後とも、県民の皆様との協働により、すべての人が安全で、安心して暮らせる地域社会づくりに全力で取り組んでまいりますので、どうか皆様方におかれましては、これまで培われた豊かな経験を生かして、「安全・安心の岡山」の創造のために、なお一層のお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

平成二十二年 六月 二十三日

岡山県知事 石井正弘

2010年度 県生協連の取り組み課題

1. 会員生協の組合員、職員、役員が参加する各種の学習・研修交流等に取り組みます。

- ① 県生協連・単協役員研修交流会、組合員活動交流集会等を行います。
- ② 他生協訪問研修は、実施の方向で検討します。

2. 行政、議会、他団体(協同組合、消費者団体、市民団体など)との連携を通して親睦を深め、信頼関係を強めます。

- ① 生協の要望や提言をまとめ、県や国の関係部署との情報・意見交換を行います。
- ② 県の「消費生活懇談会」や「食の安全・食育推進協議会」などに出席し、意見を述べます。
- ③ 県議会議員との懇談会、知事との懇談会では、生協の理念や活動の理解促進を図ります。
- ④ 県の協同組合連絡協議会に結集し、交流会・懇談会等の企画に積極的に参画します。
- ⑤ 県消連の事務局・代表幹事団としての役割を担って諸活動に取り組みます。
- ⑥ 県生協連のホームページ並びにせいきょう連ニュース・会報の充実を図ります。

3. 食の安全、消費者被害、環境、福祉、防災、まちづくりなどとともに平和、社会保障、憲法などについても学習機会を設け、消連(全国・県)などとも連携して取り組みます。

- ① 県の「食育推進計画」、「食の安全・安心推進計画」の実行に向けて役割發揮に努めます。
- ② 「NPO消費者ネットおかやま」に結集して、地域消費者利益を守る役割を担います。
- ③ 「県民平和のつどい」は実行委員会事務局としてその役割を担って取り組みます。
- ④ (財)おかやま環境ネットワークの構成団体として、諸活動に積極的に参画します。

4. 会員生協の情報交換の場を活かし、生協連帶のメリットを最大限発揮します。

- ① 県内生協の福祉活動の進展に向けて、情報や問題意識を交流する「部会」を設けます。
- ② 組織委員会、医療部会は継続開催し、教育担当者会議の再開に努めます。

総会では、8人の代議員から発言がありました

「通所介護施設オープンについて」

・佐藤隆則さん(三井造船生協)



昨年8月に第3の通所介護施設として「ひなたぼっこ庄内」を開設。家庭的なデイサービス。現在は土曜日もオープンしており1日5人の利用だが今後いつそうサービスの向上につとめ利用者を増やしていきたい。

「津山東地区に新支部結成」

・宰務美恵子さん(津山医療生協)



今年3月に長年の念願であった支部が県北に立ち上がった。地域の皆さんの期待も大きい。夢プラン(津山医療生協の30周年記念事業)もリニューアルしたいという気持ちの中、私たちにできることを模索しながら、一所懸命に頑張っていきたいと思っている。

「真備歯科診療所新築移転『300人委員会』のとりくみ」

・和泉かよ子さん(倉敷医療生協)



築30年の真備歯科診療所を新築移転する推進委員会を立ち上げた。地域住民との対話活動を通して生協のすばらしさを実感。活発な意見や要望が出された。地域の方々になくてはならない診療所として来春オープン予定。

「サンゴ礁の海を育む『もずく基金』の取り組み」

・岡本由美子さん(生協おかやまコープ)



もずくの産地である沖縄県恩納村を視察した。近年地球温暖化の影響でサンゴ礁の白化現象が起こっている。おかげやまコープはもずく商品1点につき

1円か2円の積立基金をスタートしサンゴ礁再生事業を応援している。勉強会を開くなど継続事業としていく。

今期をもって、退任された理事

- 副会長理事 中原 豊さん(三井造船生協)
- 理事 上甲 啓一さん(岡山大学生協)
- 理事 山内 幸子さん(三井造船生協)

新しく就任された理事

- 牧野義明さん(岡山県労済生協)
- 武部吉治さん(三井造船生協)
- 岡本多賀子さん(三井造船生協)
- 大山健二さん(岡山大学生協)

「生産者との顔の見える関係について」

・山本陽子さん(グリーンコープ生協おかやま)



子供たちに安全安心なものを食べさせたいという母親の気持ちから始まった。産直とは産地と結しているという意味で生産者と組合員がお互いに支えあい顔の見える関係を大切にしている。県内にとどまらず県外の生産者とも交流し今後も続けていきたい。

「創立50周年事業について」

・森本公司さん(県労済生協)



昨年5月23日に創立50周年を迎えた。2009年は岡山ドームでフェスタを開催。クリーン作戦、スペシャルオリンピックス日本への支援ほか社会貢献活動に積極的に取組んでいる。

これから50年を見据えさらに事業基盤拡充につなげよう2010年も生活者に安心を届ける活動をしていく。

「岡山大学鹿田キャンパスの新食堂オープンについて」

・西山 剛さん(岡山大学生協)



鹿田キャンパスには今まで小さな売店しかなく多くの方から津島キャンパスと同様のサービスを受けたいという要望があった。2010年4月念願の食堂をオープンした所当初予定よりはるかに多くの方々に利用してもらっている。これからも組合員の声を大切にし支持される生協を目指す。

「NPTニューヨーク総会に参加して」

・清須幸治さん(岡山医療生協)



NYでは平和パレードや署名活動を行った。言葉が通じなくても日本から1500名の人がNYで行動を起こすことで平和を訴える熱意は伝わった。核兵器廃絶の世論が高まっている今、次の2015年のNPT再検討会議にむけて平和行動を追求していきたい。



総会決議(案)を提案する

高尾美智子代議員
(倉敷医療生協)



閉会挨拶を行う三橋幸夫副会長理事

他団体とともに

2010年4月以降の取り組み…

第29回市民団体による岡山県民平和のつどいが開催されました〔7月4日(日)〕

テーマは、Peace Peace Peace 2010 “核兵器をなくすのは いま”

オルガホールは約400人の熱い想いにつつまれました。

岡山大学うたう会「みみんこ」による合唱と民舞は、若い世代の平和を謳歌する姿を映して、参加者に元気と希望をあたえました。

「つどい」は、県婦人協議会会长の広瀬敏子さんの挨拶につづき、20余名の原爆被爆者の紹介があり、代表から「被爆者にはもう時間がない、話せる今、核廃絶のための努力は惜しまない」と、ニューヨークで行動した日々の感想も述べられました。



↑ 「みみんこ」による歌と踊り

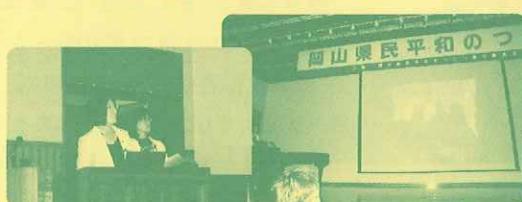
司会のお二人



開会挨拶の広瀬敏子さん



↑ 被爆者のご紹介



ニューヨークでのアピール行動を熱く語るお二人
を願う世界の市民との交流の様子などが映像を用いて報告されました。

また、5月のニューヨークの国連本部を中心に行われた

再検討会議に参加したおかやまコープ

代表派遣者の宮本紀子さん、吉田弘美さんからは、現地で被爆者をサポートし、ともに被爆証言を伝えるための行動、平和



↑ NY 行動の様子も展示



短命な総理…“演じにくい”…と、松元ヒロさん

「平和のつどい」には、広島・長崎両市長をはじめ、岡山県内で平和市長会議に加盟している6市〔(岡山市・倉敷市・総社市・笠岡市・津山市・玉野市(6月現在)〕の市長から力強い励ましのメッセージをいただき、あらためて核兵器の廃絶・平和への決意を確認しあう機会となりました。

岡山合唱団などのうた声につづいて、ゲストの松元ヒロさんが登場、パントマイマーでもある松元ヒロさんは、「一人芝居『憲法くん』～ぼく(憲法)の長所と生き立ちを思いっきり語ります～」と題してのパフォーマンス。

庄巻は日本国憲法「前文」の暗唱による朗読。会場は爆笑と感動の渦につつまれました。



↑ 広島・長崎両市長、
県内6市長のメッセージ



うたごえは平和とともに



パネルコーナー〔市被爆者会〕



現代の「すいとん」に
舌鼓(県婦協作)

◆ 消費者月間記念学習講演会が開催 (主催:県消団連 5月22(土)13時30分～オルガホール)

消費者団体、生協、司法関係者など12団体から71名の参加がありました。



まず、初めに、県消費生活センターの中田行一所長から「県内の最近の被害・相談事例の特徴」についてのご報告。

近年、詳しい被害状況を聞き取り難い高齢者をターゲットにしている消費者被害が増えてきているなどが報告され、県の消費者行政の取り組みについても述べられました。

基調講演は、「消費者被害を防ぐために」～今、私たちにできること～と題して、悪徳商法被害者対策委員会会長の堺 次夫さんのお話し。

被害者の多くが「まさか私が…」「あんなにいい人だったのに…」などと言う。ワルい事をする人間は悪人には見えない、女性はワルい事をしないなど、常識には嘘があることを知らなければならない。

私たちにできることとして、お茶の間会議・井戸端会議の復活、家族で「暗号」「家訓」を普段から決めておくことが大切などと述べられ、ユーモア溢れる有意義なお話しでした。

主催 岡山県消費者団体連絡協議会



↑ 堀 次夫さん